

## 平成 25 年一級建築士試験「設計製図の試験」 標準解答例の公表について

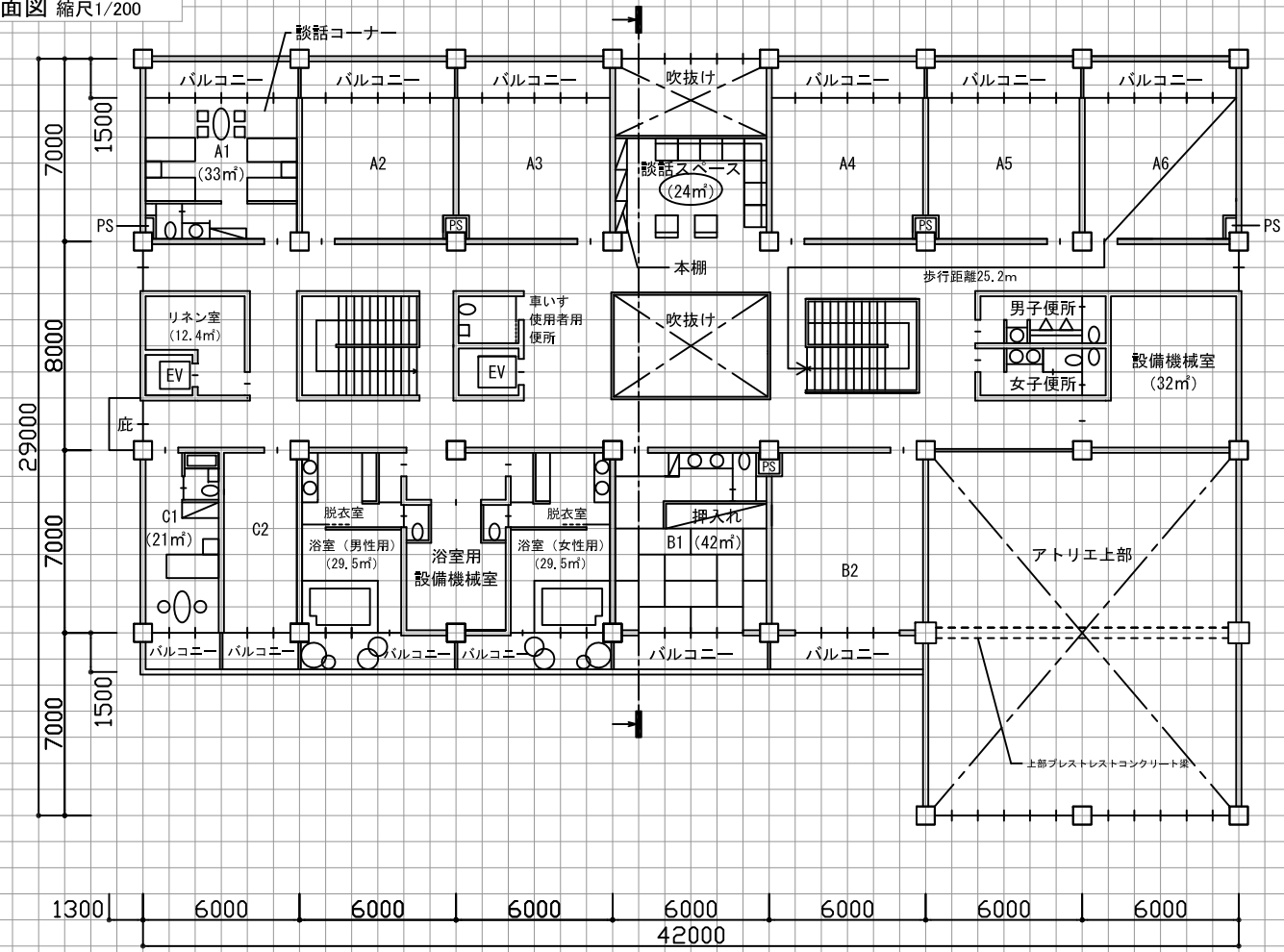
平成 25 年 10 月 13 日(日)に実施された標記試験の標準解答例（合格水準の標準的な解答例をいう。）を下記のとおり公表します。

一級建築士試験は、建築士法第 13 条及び第 15 条の 2 の規定に基づいて、国土交通大臣の指定試験機関である当センター（理事長 浅野 宏）が実施しています。

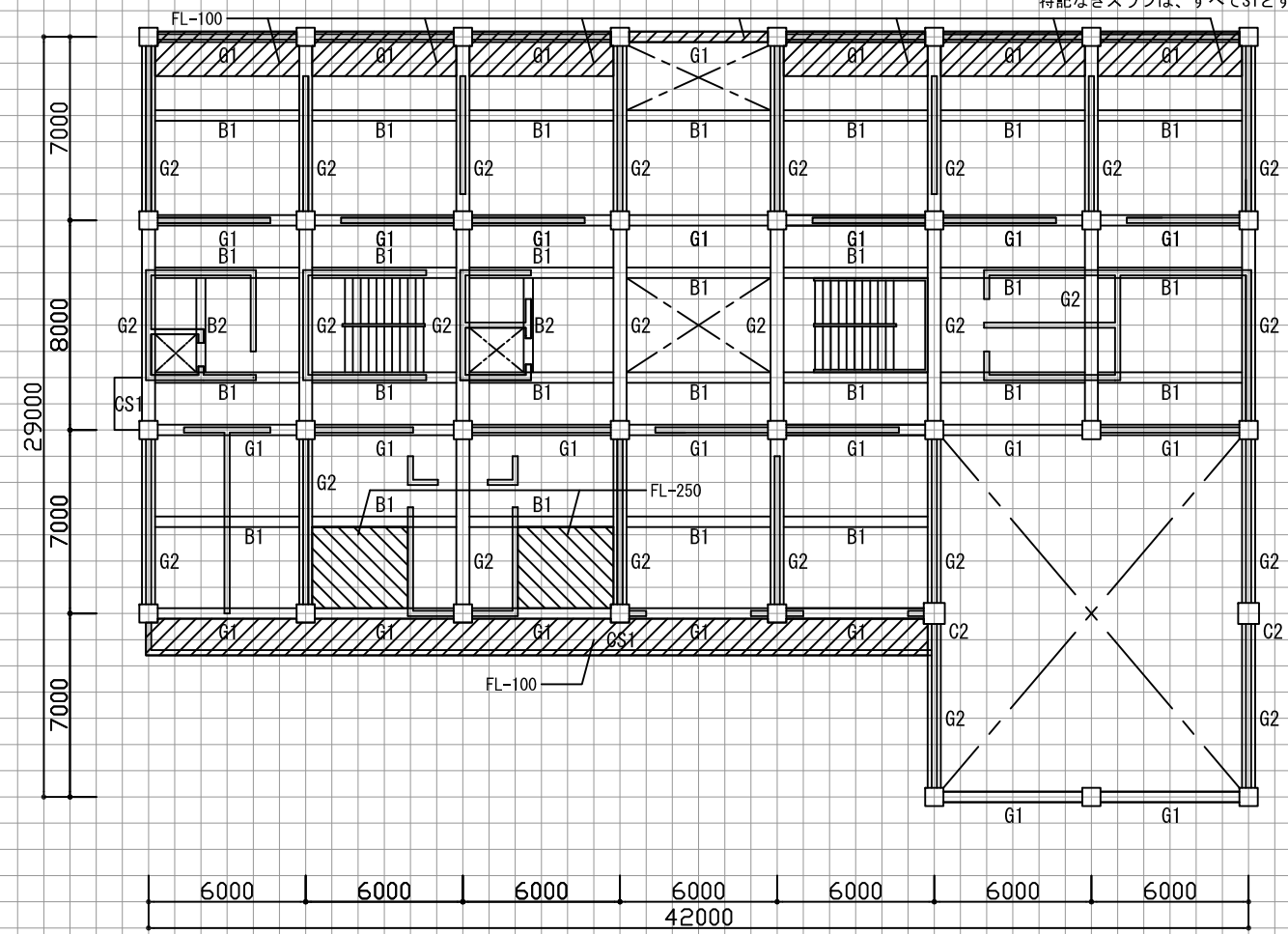
### 記

1. 標準解答例は、試験の透明性を高めるとともに、建築士を志す者に対して、習得すべき知識及び技能（一級建築士として備えるべき「建築物の設計に必要な基本的かつ総合的な知識及び技能」をいう。）の目安を示す資料として、当センターに設置された試験委員会で作成されたものです。この標準解答例は、当センター本部・支部及び都道府県建築士会の事務所に掲示するとともに、インターネット上の当センターのホームページ（URL <http://www.jaeic.jp/>）にも掲載します。なお、標準解答例は、合格水準の標準的な解答例を示すことを意図したものです。
2. 計画の要点等については、公表することにより、解答パターンが定型化するなど、適正な試験実施に影響を及ぼすことが想定されることから、概要に留めています。
3. この標準解答例を転載・複製等する場合は、当センターの許諾を得てください。
4. この標準解答例に対する質問・問合せについては、一切お答えいたしません。

2階平面図 縮尺1/200



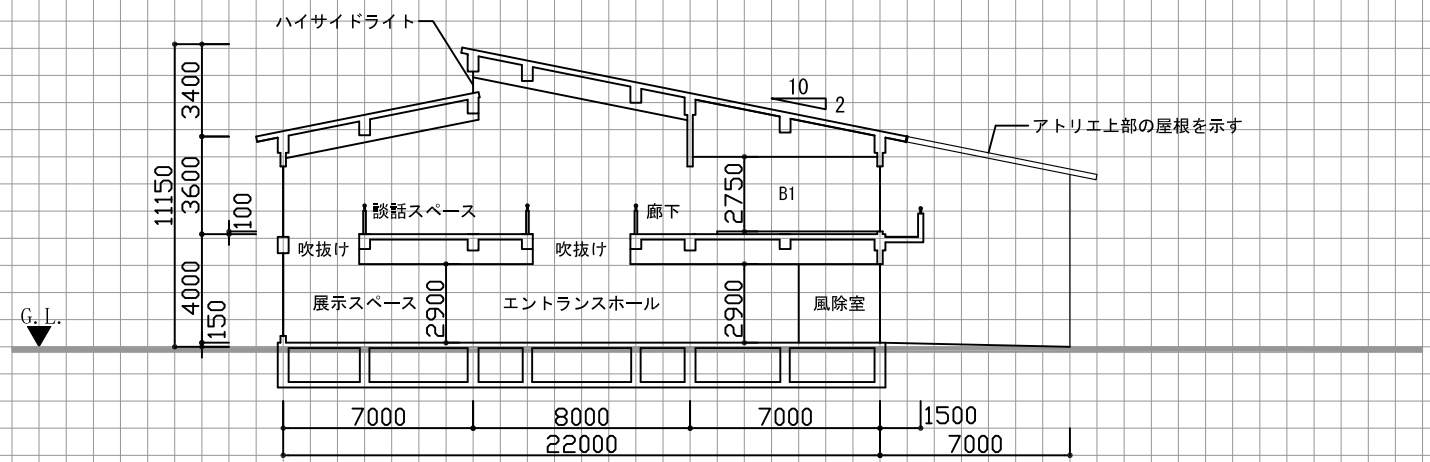
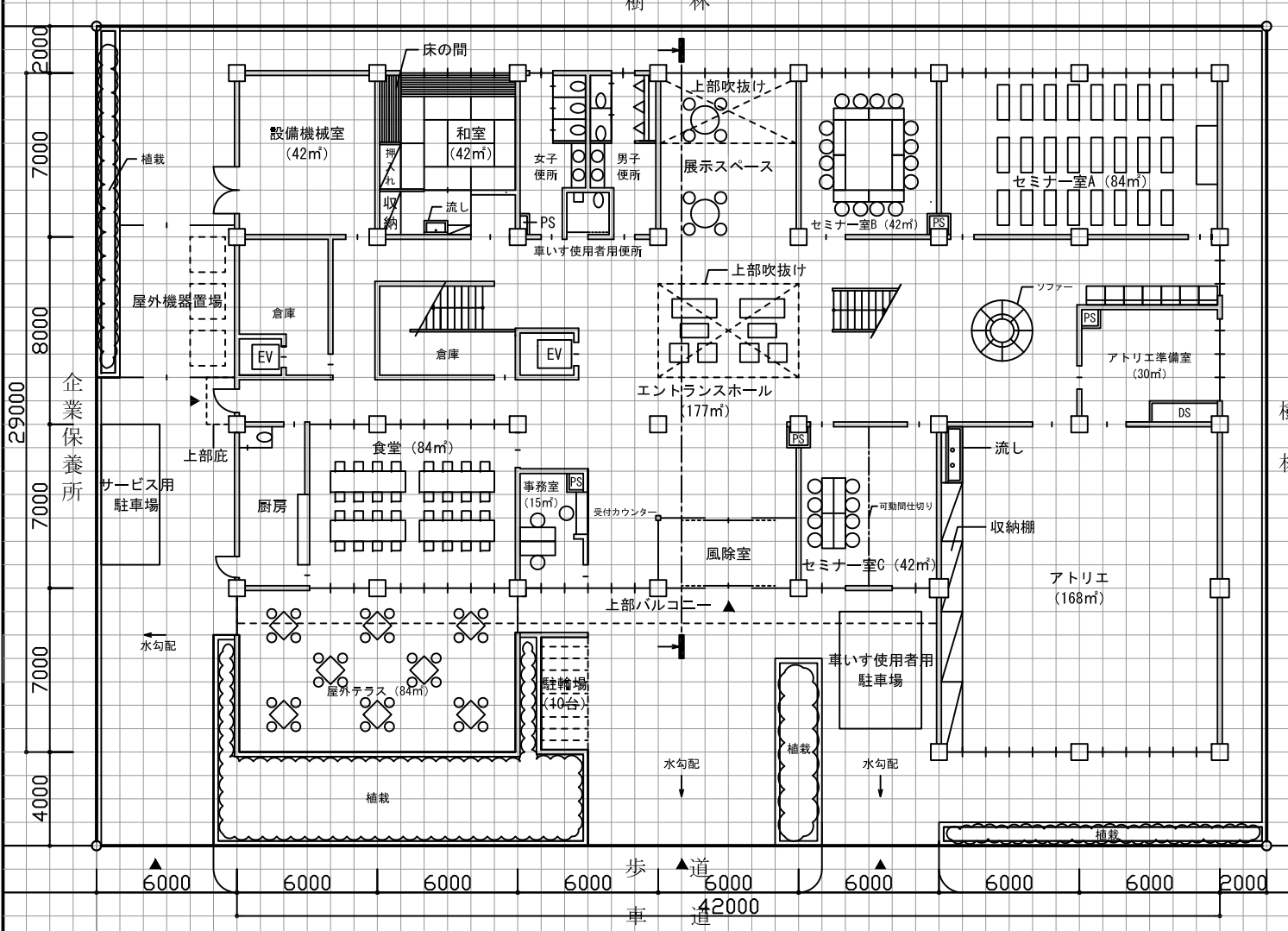
2階梁伏図 縮尺1/200 (2階からの見下げ図とする。)



個人利用の目的以外には、当センターに無断で転載・複製することを禁じます。

特記なき柱は、すべてC1とする。  
特記なきスラブは、すべてS1とする。

1階平面図兼配置図 縮尺1/200



断面図 縮尺1/200

構造要素の凡例 (必要により、空欄に記入し、図示すること。)

名称	記号

構造部材表 (2階梁伏図に符号を明示する。主要な部材が複数となる場合は空欄に追加記入すること。)

符号	部材	断面寸法 (mm)	符号	部材	断面寸法 (mm)
C1	柱①	700×700	C2	柱②	800×800
G1	大梁①	400×600	G2	大梁②	500×800
B1	小梁①	400×550	B2	小梁②	350×500
S1	スラブ①	200	CS1	スラブ②	200

計画の要点等の概要

- 建築計画:
- 1階は共用・管理部門及び研修部門、2階は宿泊部門とし、眺望の良い南側には食堂、アトリエ及び浴室を計画
  - 北側からの安定した採光を取り入れるため、ハイスାଇドライトを設けた計画
  - 1階と2階の連続性を考慮した吹抜けを設けた計画
- 構造種別:
- 鉄筋コンクリート造 (一部プレストレストコンクリート)
- 設備計画:
- アトリエは、空冷ヒートポンプチラー+単一ダクト方式
  - その他の室は空冷式ヒートポンプマルチ型エアコン

面積表 (算定式は、算出過程がわかるものとする。算出結果は、小数点以下第1位までとし、第2位以下は切り捨てる。)

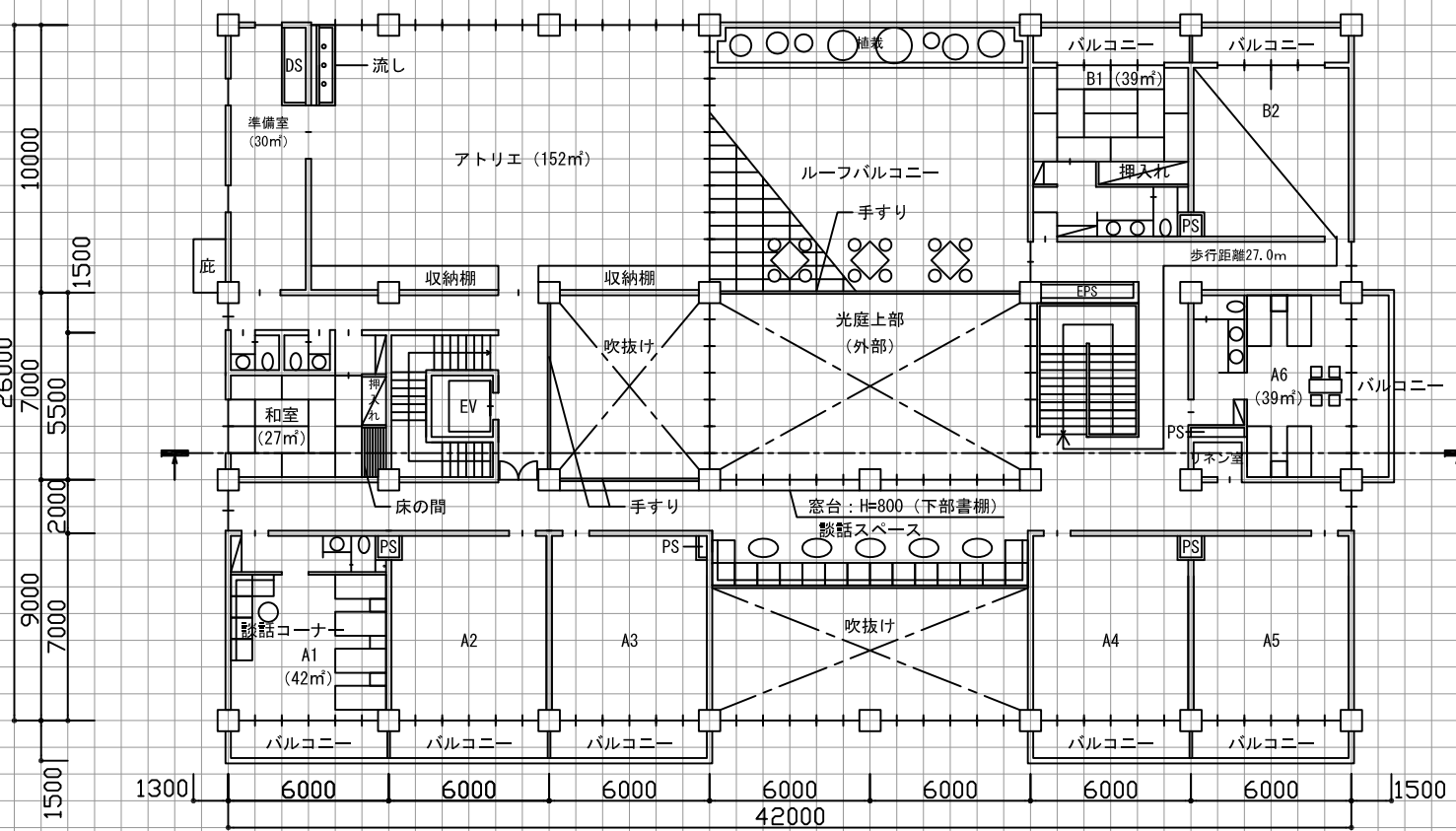
建築物の床面積		合計
1階	2階	
(算定式) 42×22+12×7	(算定式) 42×22-(18×1.5)×2-6×3 (バルコニー) -6×4-12×7 (吹抜け(アトリエ上部))	
小計 1008.0 m <sup>2</sup>	小計 744.0 m <sup>2</sup>	1752.0 m <sup>2</sup>

標準解答例①

(この標準解答例は、合格水準の標準的な解答例を示すことを意図したものです。)

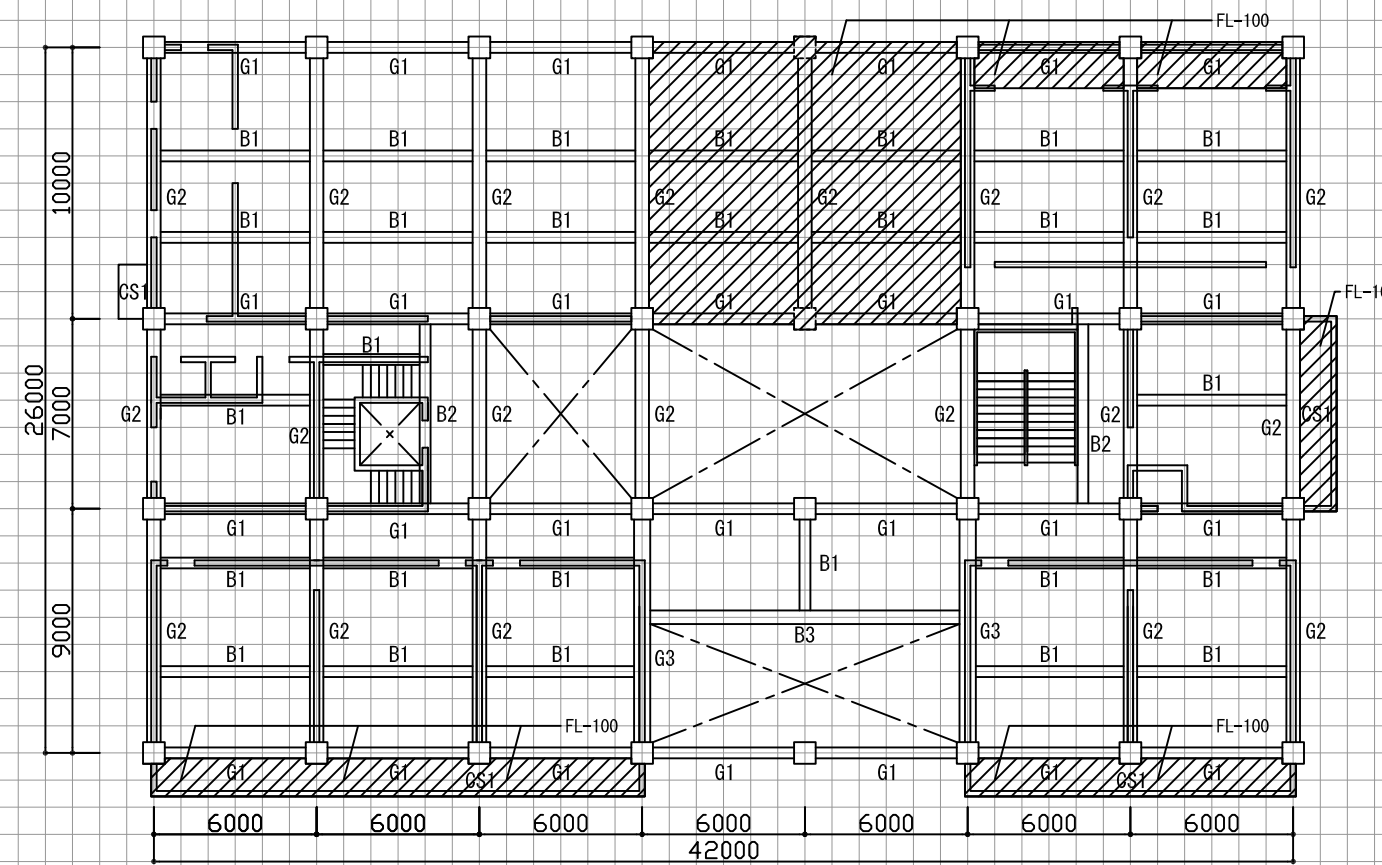
平成25年一級建築士試験「設計製図の試験」

2階平面図 縮尺1/200



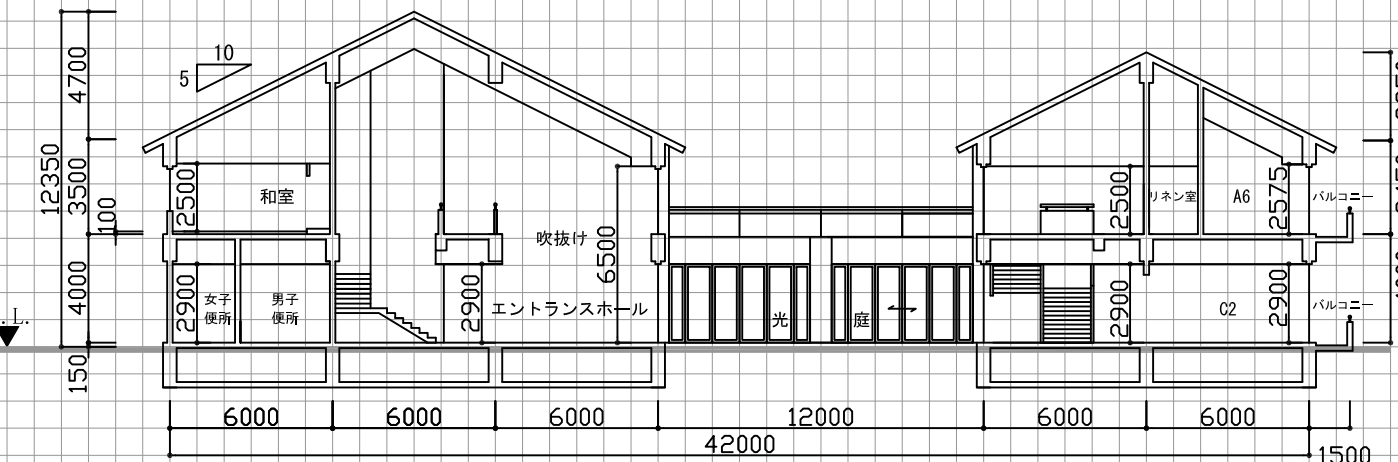
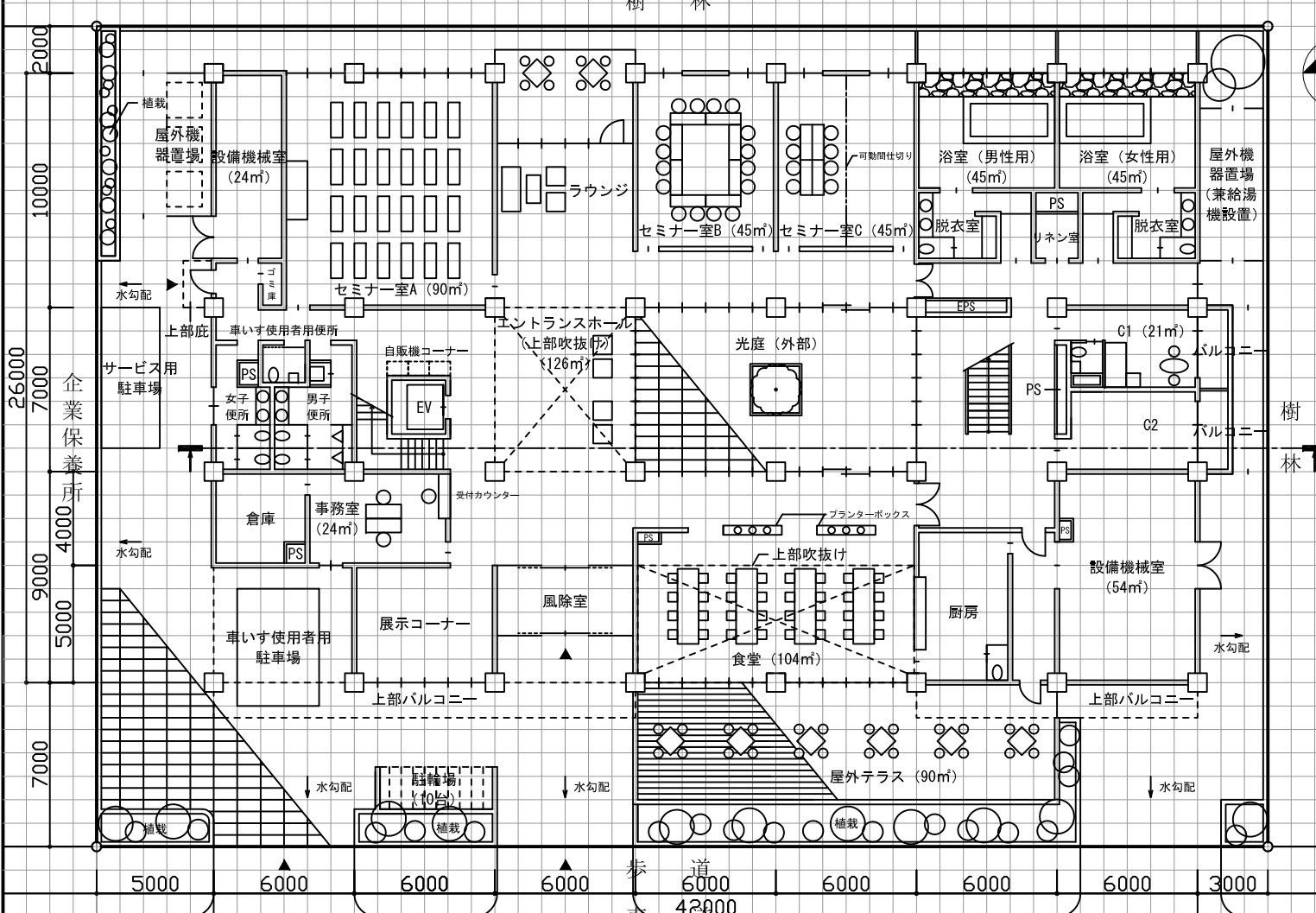
個人利用の目的以外には、当センターに無断で転載・複製することを禁じます。

2階梁伏図 縮尺1/200 (2階からの見下がり図とする。)



特記なき柱は、すべてC1とする。  
 特記なきスラブは、すべてS1とする。

1階平面図兼配置図 縮尺1/200



構造要素の凡例 (必要により、空欄に記入し、図示すること。)

名称	記号	符号	部材	断面寸法 (mm)	符号	部材	断面寸法 (mm)		
柱	C1	柱①	800×800						
大梁	G1	大梁①	400×600	G2	大梁②	500×1000	G3	大梁③	600×1200
小梁	B1	小梁①	400×550	B2	小梁②	400×600	B3	小梁③	500×1200
スラブ	S1	スラブ①	200	CS1	スラブ②	200			

計画の要点等の概要

- 建築計画：  
 ・研修部門は安定した光が得られる北側に計画、宿泊部門は眺望の良い南側及び東側に計画  
 ・共用・管理部門の食堂は眺望の良い南側に計画  
 ・エントランスホールは周囲の自然景観を取り入れた計画とし、建築物の中央部には外部として利用する光庭を設け、明るく開放的な空間となるように計画
- 構造種別：  
 ・鉄筋コンクリート造
- 設備計画：  
 ・アトリエは、空冷ヒートポンプチラー+単一ダクト方式  
 その他の室は空冷式ヒートポンプマルチ型エアコン

面積表 (算定式は、算出過程がわかるものとする。算出結果は、小数点以下第1位までとし、第2位以下は切り捨てる。)

建築物の床面積		合計
1階	2階	
(算定式) 42×26-6×3-12×7 (ラウンジ外部) (光庭)	(算定式) 42×26-12×10-12×7 (ルーフバルコニー) (光庭上部)	
-6×2-6×5 (風除室前) (駐車場)	-6×7-12×5-12×1.5 (吹抜け) (吹抜け) (バルコニー)	
小計 948.0 ㎡	小計 768.0 ㎡	1716.0 ㎡

標準解答例②  
 (この標準解答例は、合格水準の標準的な解答例を示すことを意図したものです。)

(この方眼用紙の1目盛は、5ミリメートルです。)